

# この町で働く

町にはたくさんの企業があり、そこでは多くの人働いています。このコーナーでは、そんな企業の思いを紹介し、働いている人の社会人としてのこだわりなどを川根高校生がレポートします。

## この町で暮らす人や仕事をささえ続ける

島田掛川信用金庫川根支店は川根本町唯一の信用金庫として預金や融資、為替などの金融サービスをはじめ、地域住民や事業を営む人々を支えています。経営理念「お客さまと共に信用金庫も栄え明るい職場と幸福な家庭をつくる」を掲げ、人口減少にあえぐ町内の事業者の操業支援を行っています。また、社内の人材育成にも力を注ぎ、持続可能な地域社会の実現を目指し、地域に必要とされる地域密着型金融に取り組んでいます。

地方創生の取り組みの一つとして「地元就職応援プロジェクト」を進めている同信用金庫。地元企業が抱える若者の人材不足を解消するため、さまざまな支援を打ち出し、若者のUターン就職を後押ししています。同支店長の平口慶喜さんは「川根地域の活性化のためには人材育成が一番の鍵。川根高校生や地元の若者を積極的に雇用し、地域に貢献できる人材として育てる体制を整えています」と話し、「今後も行政や商工会、事業者との情報共有を進め、地域創生のために一層強固に連携していきたい。これからも川根地域の繁栄のために創造力を持って行動し、皆様から愛されるように、職員全員が「川根本町の代表」だと意識して取り組んでいきたい」と力強く続けました。



**島田掛川信用金庫 川根支店**  
 〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾 824-1  
 ☎: 0547 (56) 1131  
 HP: <https://www.sk-shinkin.co.jp>  
 会長 市川 公 理事長 伊藤 勝英

島田掛川信用金庫 検索

高校生がライターお仕事紹介リレー

## 川根支店窓口 **にしむら あゆみ** 西村 亜由美 さん



「目標に向かって、一つずつ実践！」

### 島田掛川信用金庫川根支店のここがすごい!

『地方創生室』を設立し、行政や商工会議所・商工会など関係機関と連携し、地域活性化への取り組みを強化しています!

### 社会人としてのこだわりは?

西村さんのこだわりは、「目標を持ち、今からできること一つずつやっていく」ことだと話してくれました。実践している具体的なことは、〈あいさつ・礼儀〉〈身だしなみ・言葉遣い〉〈コンプライアンスの遵守(会社や社会の規則・ルールを守ること)〉の3つを教えてくださいました。目標を達成するために、今からできることは何かを考えることが重要だと感じました。

西村さんが教えてくれた実践内容は、私達も今からできることだと思います。学校生活や自身の将来など、しっかりと目標を持ち、それに向かって一つずつできることを自分なりにやっていきたいです。

高校生ライター おおいし つかさこ  
 川根高校2年 大石 司子さん(吉田町)



## この町で、暮らして vol.3

古民家宿 いにしへの風(地名区) & 鉄橋の杜キャンプ場(崎平区)  
 いのまた かつや きょうこ  
**猪又 克弥 さん・恭子 さん**



「移居前、友人に『田舎では移住者はよそ者扱いされるから気を付けて』と言われ、少し不安でしたがとんでもない!」と笑顔で話す猪又さん。物件探し初日、現在のいにしへの風がある地名で、

### 背中を押した地域の人の温かさ

「小学生の時に見たSLの黒々とした車体や蒸気を吐く姿が生き物みたいで圧倒されたんだよ!」。移住のきっかけを克弥さんに尋ねると目を輝かせながら話してくれました。「あの感動が忘れられなくて、大学生から50代まで毎年キャンプでこの町を訪れた。全国を旅行したけど、一番のお気に入りが入りが川根本町だよ」と続けました。そうして二人は、子育てに一段落した5年前克弥さんの「SLが走る町で、宿泊業を始めたい」という夢に挑戦するために川根本町を訪れました。

悠然と走る大井川鐵道の列車を臨むことができる「古民家宿・いにしへの風(地名区)」と「鉄橋の杜キャンプ場(崎平区)」を営む猪又さん夫妻。二人は2017年に兵庫県西宮市から移住しました。「小学生の時に見たSLの黒々とした車体や蒸気を吐く姿が生き物みたいで圧倒されたんだよ!」。移住のきっかけを克弥さんに尋ねると目を輝かせながら話してくれました。「あの感動が忘れられなくて、大学生から50代まで毎年キャンプでこの町を訪れた。全国を旅行したけど、一番のお気に入りが入りが川根本町だよ」と続けました。そうして二人は、子育てに一段落した5年前克弥さんの「SLが走る町で、宿泊業を始めたい」という夢に挑戦するために川根本町を訪れました。

猪又さんに今後の目標を尋ねてみました。「移居前は誰もが不安を抱えています。そんな人たちが、田舎暮らしを体験できる短期の宿泊プランを提供できればと考えています。この町を案内したり、地域の人を紹介したりして、『川根本町で暮らしたい』と願う人のお手伝いができれば」と期待を込めて話しました。

### 移住希望者と地域の橋渡しを

猪又さんは「地名の物件は宿泊業を始めるには不安なところもあったけど、皆さんとの出会いが背中を押してくれました。困ったときに相談すると、すぐに助けてくれる皆さんの存在が、とても心強いです」と笑いました。

住民との運命的な出会いがありました。「どこから来たか」と見ず知らずの私に声をかけてくれ、お茶を振る舞ってくれたり、野菜をくれたり、優しく接してくれた」と克弥さんは振り返ります。猪又さんに声をかけたのは住民有志の会の皆さん。小森吉美さんを筆頭に60歳を超えた皆さんで結成されています。克弥さんも最年少会員として入会。今では年2回、一緒に旅行に行く仲になりました。克弥さんは「地名の物件は宿泊業を始めるには不安なところもあったけど、皆さんとの出会いが背中を押してくれました。困ったときに相談すると、すぐに助けてくれる皆さんの存在が、とても心強いです」と笑いました。



忘年会の様子!

### 地域の行事にも積極的に参加してくれる 猪又さんたちの夢を応援し続けたい!

草木が生い茂った状態の物件を見に来た猪又さんたちを見て「どんな人なんだろう?」と思い、声を掛けてみました。話してみると、とても気さくな人たちで人あたりも良く、穏やかな二人でした。

旅行が趣味と聞いて、一緒にどうかと誘ってみると、ぜひと言ってきて、今では毎年、旅行を楽しんでいます。また、地域の奉仕作業や役員会に家族で積極的に参加してくれて、本当にうれしいです。そんな猪又さんたちとこれからも一緒に地域を盛り上げ、古民家宿「いにしへの風」を応援していきたいですね!

### 猪又さん夫妻はこんな人!



こもり よしみ 小森 吉美さん